

達成度：H30.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

農業委員会事務局の目標（平成29年度）自己評価書

農業委員会事務局長 岩井 尉行

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 農業委員の専門知識の修得による活動支援</p> <p>農業者の代表である農業委員としての知識を深め、農地を守るという任務と役割を理解、促進などにより農家の世話役となることを目的として、千葉県農業会議及び千葉県等の主催による研修会への積極的な参加とともに、農業委員会主催による研修についても、今まで以上に充実したものとします。</p>	4	<p>8月31日 新任農業委員、農地利用最適化推進委員研修</p> <p>10月25日 香取・印旛ブロック別農業委員・農地利用最適化推進委員研修</p> <p>1月 5日 農業者年金説明会（総会時）</p>
<p>2 農地法等による農地の利用の適正化</p> <p>毎月実施する農業委員会総会に、農地法による許認可及び農業経営基盤強化促進法に基づく各種承認申請に併せて、書類審査及び現地確認をした上で許可または県へ進達を行います。また、総会時の現地確認と併せて農地パトロールを行うと共に、各担当地区ごとに委員によるパトロールを随時行い、違反転用等の発見に努めます。</p> <p>併せて、各担当地区ごとに委員による農地の利用状況調査を実施します。</p>	4	<p>総会の開催 10回（農地パトロール実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地法の許可申請件数 3条(農地の売買等)2件、4条(自己転用)3件 5条(所有権移転等を伴う転用)9件、農業経営基盤強化促進法による答申29件、その他届出等24件</li> <li>・委員・推進委員による農地パトロール 延べ168回</li> <li>・農地の利用状況調査 8月</li> </ul>
<p>3 農地中間管理機構の活用による担い手への農地集積</p> <p>農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積を促進するため、経済環境課と連携を密にし、機構に対応した体制を作った上で、更なる制度の周知・推進活動に取り組みます。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会だより 制度周知 3月</li> <li>・利用権再設定時の終期通知に、機構切り替えを促すパンフレットを同封しました。</li> </ul>

